

脳ドック・もの忘れドックに関するよくある質問（FAQ）

Q 1. 標準コースとMRコース、もの忘れドックの違いはなんですか。

標準コースは、脳卒中の原因となる動脈硬化の状態を総合的に判定するコースです。その内容として、MR検査のほか、頸動脈超音波検査、血圧脈波検査、心電図、眼底撮影、胸部レントゲン撮影、血液検査、尿検査を実施します。さらに検査後に医師から今回の検査結果を総合して、今後の生活上のアドバイスをします。

MRコースは、一般の健康診断や人間ドックでは検査をしない脳や脳血管の状態を把握することを主とした簡便なコースです。内容もMR検査と血液検査のみとなっており、後日医師の作成した結果報告書をもって検査結果の説明となります。

もの忘れドックは、認知機能の低下が気になる方に、認知症の専門医と臨床心理士が適切な診断やアドバイスを行います。MR検査のほか、心理検査、血液検査を実施します。さらに検査後に医師から今回の検査結果を総合して、今後の生活上のアドバイスをします。

Q 2. 標準コースとMRコースのどちらを受診したらよいのでしょうか。

高血圧、糖尿病、脂質異常症（コレステロールや中性脂肪などの値が高い）、高尿酸血症、肥満、喫煙、過度の飲酒等が動脈硬化の危険因子です。これらの因子が多いほど脳卒中や心筋梗塞へ移行する可能性が高くなります。したがって、これらの因子をお持ちの方は標準コースをお勧めします。また、このような因子をお持ちでない方や定期的に健康診断を受け、これらの因子を適切に管理されている方についてはMRコースをお勧めします。

Q 3. MR検査中は大きな音がするそうですが、耐えられるか心配です。

MR検査では確かに大きな音がします。例えば、電車が通るときにガード下にいるときのような音の大きさです。このため、当院では検査を受けられる方全員に耳栓をして検査を行っています。耳栓をしても音は聞こえますが、音の大きさは弱まりますのでほとんどの方は問題なく検査を行っています。

Q 4. MR検査中、放射線の被ばくはあるのか心配です。

MR検査では放射線を使いませんので、被ばくはありません。

Q 5. MR検査ができない場合がありますか。

MR検査は、強い磁石の中で行う検査ですので、検査ができない場合があります。

■検査ができない代表例は次のとおりです。

- ・ペースメーカーの植え込み手術をされている方
- ・人工内耳を埋め込まれている方
- ・可動型義眼を装着されている方

■次のケースでは検査ができない場合があります。手術をして体内に金属が入っている方は、手術を実施した病院にMR検査ができるかどうかを確認する必要があります。

- ・脳動脈瘤の手術で金属クリップが入っている方→金属の種類を要確認
- ・金属製の人工弁や人工関節、磁石式入歯などが入っている方→金属の種類を要確認
- ・妊娠初期の方（可能性がある方を含む） ・閉所恐怖症の方

Q 6. 脳ドック・もの忘れドックのMRA検査では血管造影剤を使用するのですか。

MRA検査とは、MR装置を用いて血管を撮像する技術のことです。脳ドック・もの忘れドックのMRA検査において造影剤は使用しない方法で行います。

Q 7. 脳ドック・もの忘れドックは毎年受けておく必要がありますか。

次に脳ドック・もの忘れドックをいつ受けるかは、年齢や動脈硬化の進行度合によって、人それぞれに異なります。標準コース・もの忘れドックを受診された方には、次の受診時期について、医師からアドバイスをしています。

Q 8. 脳動脈瘤が見つかったらどうなりますか。

脳動脈瘤が発見されたら、早急に脳神経外科を受診してください。その上で、経過観察となるか手術が必要となるか医師とよく相談して、今後の方針を決定することになります。

当院では、脳ドックにおける脳動脈瘤の発見から、脳神経外科への併診、適切な治療方針の決定へとつながる一連の診療体制が整っています。

Q 9. 脳ドックで「アルツハイマー型認知症」は分かりますか。

MR検査の結果、脳に萎縮が認められることがありますが、これのみからアルツハイマー型認知症と診断することはできません。認知機能の低下が気になる方は、もの忘れドックをお勧めします。

Q10. 脳ドック・もの忘れドック受診（検査）当日は絶飲食でしょうか。

標準コース・もの忘れドック受診の方は、検査前日は夜 8 時までに夕食をすませてください。以後は検査終了まで水以外の飲食を控えてください。

MRコース受診の方は、検査は午後からになりますので、当日の昼食は軽めに検査時間の3時間前までにすませ、以後検査終了まで水以外の飲食は控えてください。

Q11. 脳ドック・もの忘れドック受診（検査）当日、薬は服用していいのでしょうか。

薬はいつもどおり服用してください。ただし、糖尿病の薬（血糖降下剤、インスリン等）については、標準コース・もの忘れドックの方は朝の服用を、MRコースの方は昼の服用をしないでください。食事をとらずに、糖尿病の薬を服用すると低血糖になり危険です。

なお、これは一般的な注意事項ですので、検査当日の薬の服用については、現在おかかりの先生にご相談ください。

Q12. 脳ドック・もの忘れドックの時間はどれくらいかかるのでしょうか。

標準コース（水・木・金曜日）の方は、朝8時30分から9時の間に受付をした後、午前中に各種検査を受けていただきます。終了予定は概ね11時30分から12時頃になります。標準コース（月曜日）の方は、12時45分または13時20分に受付をした後、各種検査を受けて頂きます。終了時間は概ね15時45分または16時10分頃となります。検査日から結果が全て出揃う4週間後の同じ曜日の午後（水曜日が検査日の場合のみ、4週間後の金曜日）に医師の診察を受けて頂き終了となります。

MRコースの方は、土曜日のMRコースは、12時45分、13時45分、14時45分、15時45分に各1枠ずつ設けられ、所要時間は受付後、1時間程度になります。

もの忘れドックの方は、朝9時25分頃または10時10分頃に受付をした後、午前中に各種検査を受けていただきます。お昼休憩を取っていただいた後、13時または13時30分頃から30分程度診察を受けて頂き終了となります。

Q13. 脳ドック・もの忘れドック受診の時間帯は選べるのでしょうか。

Q12. でお答えしたとおり、標準コース、もの忘れドック、MRコースとも時間が決められております。受診時間の選択はできません。

Q14. 脳ドック・もの忘れドック（検査）結果の説明は医師からあるのでしょうか。

標準コースを受診の方には、検査終了日から4週間後に、もの忘れドックを受診の方には、当日に医師から結果の説明、今後のアドバイスを受けていただく時間が設けられています。また結果報告書を作成しております。

MRコースでは、検査後に医師が作成した結果報告書の送付をもって検査結果の説明となります。

Q15. 脳ドック・もの忘れドックに健康保険は使えますか。

ドックは健康診断として扱われますので、健康保険の適用はありません。

Q16. 脳ドック・もの忘れドックの支払いにクレジットカードは使えますか。

当センターではお支払いに各種クレジットカードがご利用いただけます。

利用可能カード：VISA、MASTER、JCB、AmericanExpress、Diners等